

日立第一高等学校 野球部

先輩からのメッセージ

Hitachi

「甲子園」に向かって練習する姿に憧れて、日立一高に入学したいと思うようになりました。日立一高野球部の一員として、野球をしたいという強い思いがあったからこそ、毎日の勉強に食らいついていくことができました。

私は受験勉強にあたり、まず自分のテストの結果を分析しました。すると、基礎ができていないことがわかり、正答率の高い問題もミスしていることに気づきました。そのため、教科書の見直しや基礎問題を繰り返し行ったところ、安定した点数がとれるようになり、自信を持って受験に臨むことができました！



島抜 康介

(2022年度卒:久慈中
明治大野球部マネージャー)



埜 和真

(3年:那珂四中
・水戸シニア)

私は、夏休み前後のテストの点数を比べると、約80点上がっていました。みんな祭りなどで遊んでいる間、自分は毎日勉強していました。

『絶対に日立一高で野球をする！』という強い気持ちがあれば、短い時間でも成績は上がります！時間の使い方を工夫して頑張ってください！一緒に「甲子園」を目指しましょう！

「神宮」を目指して...

富田 大地（早稲田大4年・十王中出身）

私が早稲田大学で野球を続けたいと思ったのも、日立一高で本気で野球に取り組んだことで本当の意味での野球の楽しさを知り、自分の可能性を見出すことができたからです。

日立一高での技術指導、栄養指導、メンタル・フィジカルトレーニング...これらはどれをとっても全国レベルだと、大学で他校出身の選手と切磋琢磨する中で痛切に感じました。

高校時代に取り組んだことや学んだことが、大学でも通用すると感じる場面は多く、今も継続している練習メニューがあるほどです。

本当の意味で野球の楽しさを知れたのは、本気で取り組むことができたから。そして、本気で取り組めたのは、野球をする上で非常に恵まれた環境にあったからだと思います。

甲子園を目指す過程は、楽しいことばかりではありませんが、3年間全力で取り組めば行ける可能性は十分にあります。日立一高で甲子園を目指しましょう！



林 太一（筑波大4年・多賀中出身）

自分は大学野球をしている中で、日立一高野球部の素晴らしさを感じる事が何度もあります。その中でも、選手が主体となって練習をするチームだということが、特に印象に残っています。

大学では、監督やコーチなどは個別でアドバイスをくださったりすることは少なく、自分で「自分に何が足りないのか、どこが悪いのか」を考え改善する必要があります。それは非常に難しいことで、簡単にはできません。

しかし、日立一高野球部で、自分で考えて練習することや、たくさんのトレーニング方法を学ばせて頂いたおかげで苦労することなく練習に取り組んでいます。

初めはとても難しく、苦戦することもあると思いますが、しっかりと先生方やスタッフの意志をくみ取って練習すれば甲子園に行ける高校です！

甲子園に行けるレベルの指導、環境を最大限活かして是非、日立一高野球部で甲子園を目指しましょう！



「プロ野球選手」を目指して...

Hitachi

片山 皓心（勝田一中－日立一高－桐蔭横浜大－Honda）

日立一高は、選手が主体的に考えてメニューを組んで練習しています。その経験があったからこそいざ大学に入っても迷わず自分に必要な練習、トレーニングを行うことができました。高校時代に全く結果を出すことが出来なかった自分がここまでやってこれたのは間違いなく日立一高でやってきた練習、考え方の意図を理解できたからだと思っています。

日立一高での練習、トレーニングは全国でも誇れるものだと思います。日立一高野球部を外からみて私が思ったので保証できます。その練習の意図がわかってやれていれば甲子園に出て勝つことができます！意図を理解して練習している高校生など、ほとんどいません。

勝つこと、野球と言うものの難しさ、本当の楽しさを体験できるのは間違いなく日立一高野球部しか無いと思います。



※2020秋 第16回関東地区大学野球選手権大会「MVP」「最優秀投手」
2021 JABA東京スポニチ大会「新人賞」

清水 大海（豊浦中－日立一高－筑波大－日立製作所）

周りの人は、県立進学校で甲子園なんて目指せるのかと思うかもしれませんが、私は本気で甲子園を目指していましたし、行けると考えていました。

その理由として、指導レベルの高さがあると思います。一高の指導は高いレベルにあったと大学に入ってから特に感じました。技術やトレーニング、体のケア、選手としてレベルアップしていくために必要なことを全て学べました。実際、大学に入ってから、継続していることがたくさんあり、大学に通用する野球を学べる高校だったと思います。

高いレベルの指導のため、完璧に理解し練習するまで時間がかかるかもしれませんが、それを理解して練習できた時は、選手個人としてもチームとしても爆発的に成長できる、そんな可能性にあふれた高校だったと私は思っています。

甲子園を狙えるだけの環境が整っていることは保証できます。その環境を選手がどれだけ活かすかだと思います。

日立一高で本気で甲子園を目指しましょう！

※首都大学野球リーグ「ベストナイン」2度受賞
(2020秋・2022秋)

